



会 報

第14回

平成元年3月

社団法人 北海道美術館協力会
札幌市中央区北1条西17丁目 電話011-644-4025



道立三岸好太郎美術館コンサートの開催

三岸好太郎美術館主催の美術館コンサート「ピアノのおくりもの」が一月十四日同館一階展示室で開かれ、若者からお年寄りまで約二百五十人が華麗な旋律に聴きいった。

このコンサートは札幌出身の洋画家三岸好太郎の代表作「オーケストラ」にちなみのもので今回で十五回目、北海道新聞社が寄贈したグランドピアノの披露も兼ねて催された。

無胆の弁

北海道立三岸好太郎美術館長 小川 亨



たんのうを切除してから、もう、かれこれ14年ほどになる。たんのうはいわゆるきもだから、今の私には当然ながらきもがない。

“それで、なんでもありませんか”と、よくきかれるが、“とにかく、現にこうして元気でするんですから、なんでもないようですね”と、こたえる以外にない。

当時、そのことを私自身、執刀医にたずねたことがある。

この医者は、中学の同期生で、旭川医大の外科部長をしている水戸教授であるが、彼が言うには、“人間の臓器には、それぞれの役目があるのだから、有るものは有った方がいいにきまっている。しかし、切らないためにそれが悪化するのであれば、かえって取り返しのつかないことになるし、残したままで、治ゆの見とおしがたたないとすれば、切除するしかない”というのであった。

これは至言だと思う。世の中のことで、よく、「切開手術が必要だ」というようなことをいう。切開しなくても治るものであれば、それにこしたことはないが、しかし、その手術をおっくうがって、ジンゼン日を送り、元も子もなくするようになってはつまらない。

会社経営でも、美術館経営でも、みんななま身の人間のからだのあつかい方と同じだと思う。

ところで、きもがないということには、またそれだけの役得があるのだから面白い。

胆汁の貯蔵庫がないのだから、呑み食いをはじめ、すべてに無理は禁物である。

たとえ、からだに無理がかかる場合でも、意識して気もちだけは楽天的につとめている。その結果が“小川さんはいつも元気ですね”とおほめの言葉をちょうだいすることになる。

しかし、人間のからだは、自慢だけではできない。自然

災害と同じようなものだ。自慢した明日にも、どうなるかわかったものではないから、ひたすらケンキョに、常時これつつしむだけである。

現職中は、議会で議論になったり、組合と争うことが多い仕事を比較的多く担当してきたが、その当時、訪ねてきた人が、よく、“激務だから大へんでしょう”といわれたが、私は元来、同情されることが余り好きでないものだから、“いやー、私にはもともときもがないからいまさらきもをつぶすにも、そのつぶさずきもがありませんし、きもを冷やすことも、きもを焼くこともありませんので……”と答えることにしていた。

ときには、勝手に我田引水論を、一方的にするいやな相手にでも出合うものなら、“おっしゃることは、ぜひ私も、「きもに銘じて」といいたいところですが、なにしろ私には、その銘ずるきもがないものですから……”と、よく、軽くかわしたものである。これもまた、無胆の一得であろう。



北海道立三岸好太郎美術館外観

アメリカ美の探訪11日間



理事（団長） 鈴木 英二

▽11月1日(火) 札幌から成田に飛んで一泊。2日午前11時同空港をスタートしたANA64号機が13時間余の飛行で最初の目的地ワシントンのダレス空港に着いたのは同じ2日の午前11時近くだった。

晩秋のアメリカ東海岸の美術館を巡る“第9回美の探訪ツアー”に参加した一行は勇躍して秋陽麗かなワシントンの土を踏んだ。構成は添乗のJTB川原・瀬戸の両君とコーディネーターの佐藤幸宏学芸員を加えても男性は僅か7名、36名が女性という女性上位。余談になるがこれを聞いてボランティア部長の関川節子理事に予め副団長をお願いしておいたために私は助かった。

一行は昼食もそこそこにJTB差回しのバスで早速市内観光に。ホワイト・ハウス、リンカーン記念堂、国会議事堂など白亜の建物と滴る緑が売りもののこの町だが、終わり間近かの紅（黄）葉が柔らかな秋の陽に映える風情も整った街づくりと調和して美しい。アーリントン墓地やホワイト・ハウス周辺では皆なが盛んにカメラのシャッターを押していた。

▽11月3日(木) 最初の休養日。美術館、博物館、近郊へとそれぞれに一日を楽しんだ。私は道新水上特派員の案内でアメリカの明治村ウィリアムズバーグに出掛けたがJTBのフィラデルフィア日帰りツアーに参加した人も多かった。ところが、このツアーの目玉のフィラデルフィア美術館見学が時間不足を理由にカットされかけたことで騒ぎが起きたという。関川さんの取りなして短時間ながら見学は実現、何とか収まったというが、スタート早々のこの出来事はいささかショックだった。

▽11月4日(金) きょうから本番の見学始まる。10時ワシ

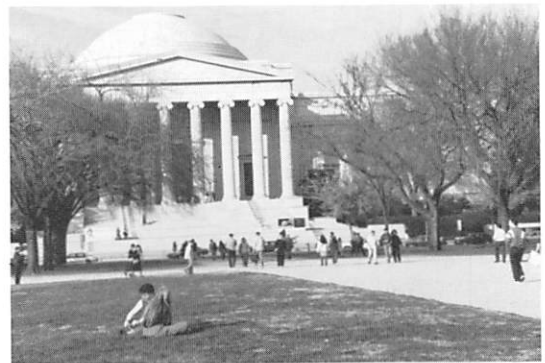
ントン国立美術館の西玄関にスミソニアンフレッド・山田氏がにこやかに一行を出迎えてくれた。

小柄で温和な紳士の山田さんは、あとで判ったことだが有名なナショナル・インスティテュート・オブ・ヘルスで医事研究に携わるコンピューターの専門家。絵に魅せられて美術館通いをしているうちに解説のボランティアを志し、今では唯一人の日本語解説員として活動されているという。

見学は同氏と佐藤学芸員の二班に分けて行われた。同氏の班に入った私はダ・ヴィンチ、ラファエロなど古いものからセザンヌ、モネ、ピカソなど近代絵画の前で熱っぽく語る同氏の話に聞き入った。

この日は、日米文化交流事業の一つとして開催中の日本外務省提供の“大名展”の人気もあって広い館内は凄まじい人の波。レストランや売店前にも長い列ができていた。

午後は、隣接するスミソニアン博物館群の自由見学となった。私は“大名展”ともう一つの“ミケランジェロ特別企画展”そして航空宇宙博物館を回ったところで時間を使い果たした。自然史、人類学館などに足を伸ばした



紅葉のワシントン・ナショナル・ギャラリー



一行を歓迎するシェスタック館長

人もいたが、所詮全部を回るのは無理なこと。もう一日欲しいという声も出ていた。夕食は大勢の希望者の案内役を買って出て中華街へ。

▽11月5日(土) 三日間の思い出を胸に一行は早朝ワシントンをあとにボストンへ。

ボストンはアメリカ建国の歴史を刻んだ古い町。米国北東部の商工業、金融、漁業そして学術文化の中心地でもある。飛行約一時間半、空の玄関イースト・ボストン空港と町は近かったが、いまにも降り出しそうな生憎の空模様だった。

最初に訪れたのは港のそばのシーフードの店。歴代の大統領や有名人が訪れるというこの店の多様な貝のシチューやヒラメのムニエルは美味しく皆な大喜び。そういえば翌日大勢で押しかけた名物のロブスター、美術館の魚料理、宿舍パーク・プラザの朝食などここではご馳走に恵まれた。美味しい食べものは町の印象を盛り上げる。

午後は市内観光。1723年建築のオールド・ノース教会はじめ、独立戦争らしい史跡や建物の多い町だ。それらとモダンなビル群とのコントラストは見事で、新名所クインシー・マーケットやハーバード大学生協でのショッピングも楽しかった。

▽11月6日(日)朝、ホテル真向いの米国最古の公園ボストン・コモンを散策。昨夜の雨も晴れ上って芝生を覆う落葉やニレ、柳などの大樹に降り注ぐ秋の陽がまぶしい。腕組み合ってゆったりと散歩を楽しむ老夫婦、ベンチで語り合う若いカップル、人なつこいリスや真鴨、鳩など

にエサを与える子供連れ…のどかで美しい日曜の朝だ。

少し離れた広場では手製のゼッケンをつけた若者達が何やら氣勢を上げていたが、これは地元のデュカキス知事を応援する集会。こんどの旅で初めて出会った大統領選挙の一コマだった。

正午、我々はボストン美術館に到着。直ちに特別室に案内された。日曜日にも関わらず自ら出迎えてくれたシェスタック館長は『はるばる見学にこられた皆さんを心から歓迎します。美術を愛するものに国境はないし、協力会の皆さんとは9月に私が札幌を訪れたときからの旧知の仲…』と温い挨拶とともに同席の東洋美術の権威ヒックマン、修復担当責任者のピール両博士を紹介された。

『このコックは腕がいい』と館長ご自慢の料理は一流。しかも私共だけの特別室とあって昼食会は一層楽しいものとなった。また、事前の打ち合わせでは日曜日の混雑を避けるため食堂の席を確保して頂くということだけだったのに『食事代も不要』と言われて私は一瞬どうしたものかと戸惑った。しかし、直ぐ立って一行にこのことを伝え『これを有難く受入れたい。ただ、ここは独立独歩の美術館なので御礼に何がしかの寄附をしたい』と訴えた。この提案は拍手で受け入れられ、皆のポケット・マネー250ドルをその場で贈らせて頂いた。

見学は先月24日開園したばかりの日本庭園“天心園”から始まった。枯山水様のこの庭園は京都の名匠中根金作氏が設計、日本テレビの小林与三次会長が寄贈されたもの。名称は同美術館アジア美術部の初代主事岡倉天心に敬意を表してつけられたという。

館長は『日本、ボストン美術館そしてニュー・イングランドの伝統と心を一つの庭の中に巧みに表現しているこの庭園は新しい大切な財産です』と話していたが、四季の移ろいを現わすために日本とアメリカから70種類以上の草木を集めるなどたいへんな力の入れよう。見学者の人気も高いようだ。

質量ともに世界有数といわれる東洋コレクションの案内役はヒックマン博士が行った。最初『日本語は少々』と謙遜された博士だが、始まってみると驚くほど流暢で、時折りジョークも混えた楽しい解説だった。西洋絵画の解説は朝から乗込んで備えていた佐藤学芸員によって要領よく行なわれた。

こうして予定の4時間半はまたたく間に過ぎた。思い

がけない歓待と素晴らしい美術館に感激した一行は来夏札幌で開催のボストン美術館展での再会を約束して館長らにお別れした。

▽11月7日(月) 最終目的地ニュー・ヨークへ。マンハッタン島の林立する摩天楼に機内がざわめき始まる間もなく塔乗機はラ・ガーディア空港に着陸。

ツアー初の和食、お刺身つきお弁当で寛いだあと一行は先づ国連本部へ。陽気なアメリカ青年ポール君の名ガイドと憧れのニュー・ヨークということで車内は何時にも増して賑やか。連日の強行軍にもめげずエンパイア・ステートビル、五番街、タイムズ・スクエア、セントラル・パーク…と夕刻まで島内巡りを続けた。

▽11月8日(火) 朝からメトロポリタン美術館へ。ルーブル、レニングラード美術館などとともに世界屈指の同館前は10時の開館を待つ各国の人々で賑わっていた。

見学は佐藤学芸員の案内で二階のヨーロッパ絵画から始まりラファエロ、レンブラント、マネ、ルノワール、モネ、セザンヌなど巨匠の名作を楽しんだ。ところが佐藤君の解説が突然警備員に遮られた。館内での解説は事前に許可を得たもの以外はダメという。慌てて川原君が担当者にかけ合おうとしたが生憎きょうは大統領選で不在。止むなく以後は巡視の眼をうかがいながらの解説と自由鑑賞のミックスとなったが、午後のニュー・ヨーク近美見学でも同じ浮き目に遭ったのは残念だった。

ニュー・ヨーク近美も素晴しかった。フラッシュを使わない限りアメリカの美術館はカメラを許しているの、



国連本部前の一行情

ここでも好きな絵の前で記念写真をとる人が多かった。

カンジンスキーの絵の前に立った時、私はふと昔のことを思い出して佇んだ。1974年10月、私は建設中の道立近代美術館オープン展準備の使命を帯びて真先きここを訪ねて借出し交渉をした。館長らの好意的対応にも関わらず話し合いはつかず、重い気持ちで私はミュンヘンに飛んだ。そして77年7月同市のピナコテーク、市立両美術館の協力でオープン展に漕ぎつけた。そのテーマは“カンジンスキーと青騎士の時代”だった。

その夜は本場ブロードウェイのミュージカル“キャッツ”のO. P. ツアーが生まれ、参加した人達が感激して帰ってきた。日本出発前まさかと思って予約しなかった私はチョッピリ悔んだ。

▽11月9日(水) 最後の休養日。皆思い思いに買物、見物にと出掛けた。なかにはO. P. ツアーでナイアガラまで足を伸ばした人もいたが、私は人種のるつぼニュー・ヨークの素顔を少しでも多く…と知人に頼んで下町やミュージック・ライブに案内してもらった。

▽11月10日(木) 早朝5時半ホテルを出て帰国の途に。ラ・ガーディア空港では美しい日の出が見られた。

ワシントンを経て成田、千歳への機内では旅の思い出が互いに語り合われた。不思議というかボストンの初日を除いては晴れわたった毎日だった。そして多くの人がこのツアーに参加してよかったといってくれた。私も漸く肩の荷が降りた。11日21時半千歳帰着。あっという間の11日間の旅は終わった。



ボストン・コモンの日曜の朝

アメリカの美術館ボランティア

ワシントンD.C.ナショナル・ギャラリー

ドーセント・コーディネーター

Ms. Mary Ellen Wilsonを囲んで

Mr. Yamada (外国語解説部日本語担当) 関川 節子 (ボランティア部長) 吉田みさ子 (売店)
岡嶋 弘子 (解説) 児玉 宥子 (解説) 池島 ちえ (旭川・美) 荒川 清子 (旭川・美)

私達は、社団法人北海道美術館協力の会のボランティア部の者です。私達の活動は、アメリカの美術館ボランティア活動をお手本として始めて、10年歩んで参りました。今日、ワシントンD.C.のナショナル・ギャラリーのドーセント・コーディネーターMs. Mary Ellen Wilsonに、直接お話していただきますことを光栄に思います。日本語解説ボランティアの山田さんも、よろしくお願い致します。

ナショナル・ギャラリーのボランティアは、現在225人居ます。大部分の人がツアーを担当し、その中、外国語専門は50人です。2年前迄は4歳～小学(4年)生の子供対象のものだけでしたが、今では学生ツアー、一般大人のツアー等、成人に対しても行なうようになりました。3年前からは、ギャラリーでの質問にも答えるようになったので、ボランティアは週に1度は必ず美術館に来て、その対応の仕方等について教育担当のスタッフと話し合います。外国語専門の場合は、もっと厳しいと思います。

資格について——特に美術関係の人に限ることはなく、しかし大抵の人は大学で美術・歴史の教育を受けており、教育職の経歴があれば一層良いと思います。人前で



ウィルソン夫人を囲んで

話ができることは大切な要素ですから。しかし何と言っても一番大事なものは、「人の役に立とう」という熱意だと思います。実際にボランティアの人の中には、子供を預けて活動している母親もいますし、医者、教師、弁護士など、職業に従事しながら参加している人もいます。中には30年間も続けている人も。また80歳の女性もいます。人の為に喜んで役立ちたいという気持ちで、何よりも自分自身で満足することが大切です。外国語解説専門の山田さんは、今日も勤務の時間をさいて来て下さいました。

訓練について——まず、美術と美術史を教え、次ぎに対象者の年齢に応じた解説の方法を、段階を追って研修します。例えば、実際に幼稚園児に合せて対話をする必要も必要です。収蔵作品についての実地研修では、館教育担当のスタッフがギャラリーを説明して廻ります。資料は前もって渡され、1週間後に絵についての討論が行なわれます。この討論は重要なものであり、そのためにスタッフの解説をテープにとって、自宅で勉強をする人もいます。さらにギャラリーでの多様な質問を予想しその対応の仕方を実習します。これらの状況のすべてをスタッフによって評価されて、許可証が渡されるのです。この間、通常1年は要します。またこれ等の訓練にはすでに教育を受けてツアーの経験を積んでいる先輩もスタッフとして参加します。

活動の内容について——幼児、小学生、学生、一般(大人)、身体障害者、少数民族、外国人……の様に、各々のグループ毎に活動をします。

スクール・ドーセントは、4つの学校区域(ワシントン、北ヴァージニア、メリーランド、ジョージア)から同人数のボランティアを募集し、各地域には代表を置き

新 入 会 員 紹 介 (昭和63年7月 ~ 平成元年2月)

◇ 法 人 会 員 (9社)

| 加 入 年 月 日 | 氏 名 | 住 所 |
|--------------|--------------------|---------------------|
| 63年 12. 1 | 柳グリーンリバー | 西区西野1条1丁目10-1 |
| 平成元 2. 7 | 近畿日本ツーリス ト柳札幌支店 | 中央区北2条西4丁目 三井ビル1F |
| 2. 8 | 佐藤水産㈱ | 西区24軒3条6丁目 |
| 2. 10 | 柳パブリックセン ター | 中央区北1条東1丁目2番地明治生命ビル |
| 2. 10 | 小林企業㈱ | 白石区菊水9条3丁目5-19 |
| 2. 15 | ネクレンくみあ い材料 | 中央区北4条西1丁目 |
| 2. 15 | ホシ伊藤㈱ | 中央区南8条西14丁目 |
| 3. 1 | 北海道土質コン サルタント㈱ | 豊平区平岸1条2丁目5-16 |
| 3. 1 | 山藤印刷㈱ | 西区手稲宮の沢93-1 |

◇ 個 人 会 員 (53名)

| 加 入 年 月 日 | 氏 名 | 住 所 |
|--------------|-------|-----------------------|
| 63年 8. 5 | 山崎 操 | 北区麻生町4丁目10-2 |
| 8. 7 | 藤井 正章 | 中央区北4条西17丁目1-13 |
| 8. 9 | 尾田 礼子 | 豊平区平岸1条7丁目3-6-301 |
| 8. 19 | 小島 賢治 | 中央区南9条西17丁目2-25 |
| 8. 19 | 浦田 久 | 北区北23条西8丁目 |
| 8. 19 | 田中イン子 | 白石区南郷通1北7-1-612 |
| 8. 23 | 高谷 克子 | 中央区大通24丁目パークアベニュー-511 |
| 8. 27 | 兵藤 文香 | 中央区南5条西27丁目 山見ハイツ805 |
| 8. 27 | 谷口 恭 | 北区北26条西8丁目2-1AMハイツ206 |
| 8. 28 | 今井 隆子 | 南区澄川5条3丁目5-12 |
| 8. 31 | 中居 千代 | 小樽市入船5丁目21-7 |
| 9. 3 | 篠原 泰子 | 西区西野6条2丁目7-10 |
| 9. 4 | 飯島 栄子 | 江別市文京台57-3 |
| 9. 6 | 川口 汪 | 鶴川町花園町2丁目86 |
| 9. 21 | 高橋 洋子 | 中央区南21条西12丁目3-10 |
| 9. 21 | 棟 峰子 | 小樽市錦町19-15 |
| 9. 29 | 杉山 協子 | 北区北25条西13丁目5-10 |
| 10. 1 | 岩倉 良子 | 中央区南21条西13丁目2-23 201号 |
| 10. 2 | 久慈 玉江 | 室蘭市中島町1-38-5 |

| 加 入 年 月 日 | 氏 名 | 住 所 |
|--------------|--------|----------------------------|
| 10. 19 | 安田 哲夫 | 西区八軒2条東1丁目 |
| 10. 20 | 山下 幸子 | 白石区大谷地東4丁目2番28-308 |
| 10. 21 | 大泉 重行 | 小樽市富岡1-33-4 |
| 10. 23 | 高桑 章 | 西区発寒7条5丁目8-10 |
| 10. 28 | 岩本 健良 | 北区北15条西2丁目松井ビル301 |
| 11. 1 | 白旗 靖子 | 西区手稲星置291-4 |
| 11. 4 | 中村 隆子 | 中央区南25条西8丁目1-32 |
| 11. 6 | 西野美慧子 | 豊平区美園9条5丁目4-16 |
| 11. 13 | 早川 和子 | 中央区南12条西23丁目1-1-507 |
| 11. 25 | 佐崎 康子 | 西区西野2条3丁目5-2-301 |
| 11. 26 | 渡辺 忠子 | 西区24軒2条6丁目3-32 |
| 11. 26 | 難波 侑子 | 中央区宮の森2条10丁目4-20 |
| 11. 26 | 建部 咲 | 中央区南9条西21丁目3-2 B4号 |
| 12. 1 | 亀田 直子 | 西区発寒14条5丁目1-58コーポクリスタル302号 |
| 12. 6 | 小野 礼子 | 西区発寒1141番地226 |
| 12. 15 | 矢武 三知 | 中央区宮の森3条7丁目1-1-404 |
| 12. 16 | 落合 敏子 | 南区真駒内南町2-1-16 |
| 12. 16 | 須田 トシ | 東区北10条東2丁目43 |
| 12. 16 | 丸 勝美 | 中央区伏見1丁目1 |
| 12. 16 | 庄司 頼子 | 中央区南9条西23丁目3-1-507 |
| 12. 16 | 岡本 澄子 | 小樽市長橋2丁目15-11 |
| 12. 16 | 荒谷 弘子 | 小樽市オタモイ3丁目4-5 |
| 12. 20 | 斉藤 典子 | 網走郡美幌町大通北1丁目 |
| 12. 20 | 吉川 トモ | 夕張市末広1丁目104 |
| 平成元 1. 8 | 武笠 従子 | 北区麻生町5-9-1-901 |
| 1. 13 | 藤田 麗子 | 西区発寒8条10丁目2-10 |
| 1. 14 | 鈴木 貞司 | 中央区宮の森3-2-1-10 |
| 1. 27 | 駒ヶ嶺ゆかり | 中央区南19条西13丁目 |
| 2. 1 | 赤川 海大 | 深川市太子町5-35 |
| 2. 9 | 大中 軍司 | 南区澄川1条3丁目5-11 |
| 2. 15 | 原田美智子 | 白石区厚別北4条2丁目16-6 |
| 2. 18 | 福田 順子 | 東区北15条東15-5ステーションハイツ山本502 |
| 3. 1 | 石井 徳美 | 西区24軒3条2丁目4-12-506 |
| 3. 4 | 宮坂 寧子 | 西区山の手5条3丁目 |

○ 国内美術研修旅行がきました。

事業部会（部長鈴木理事）では、平成元年度の事業計画を協議し、とりあえず「国内美術研修旅行」を5月下旬に実施することとし、今年市制100年を記念してオープンされる、広島市立現代美術館を中心に岡山・倉敷・松山等3泊4日程度の旅行として、本会の会員であるJTB他5社から、旅行計画と経費の見積書を提出して頂き、それを事業部会で検討した結果（株）太平洋観光札幌さんに決定しました。近日中に同社から、具体的な案内が会員の皆さんに届けられます。友人、知人お誘い合わせのうえご参加下さい。

なお、海外美術研修旅行についても、目下東欧を中心に検討しております。

○ 婦人美術講座が例年同様開講されます。

最近多くのご婦人方から関心をいただいている、婦人美術講座は平成元年度も、北海道立近代美術館の協力を得て、5月6日（土）から10月7日（土）までの20回毎週土曜日に開講する予定で準備を進めております。お知り合いで関心のある方が居られましたらご連絡下さい。

○ 親しい方に会員証をプレゼントしませんか

結婚・就職のお祝いなど、親しい方に協会の会員証をプレゼントする制度がございます。どなたでもご利用いただけますので、お知り合いの方にもご紹介下さい。

会費を添えてお申し込み載ければ、会員証にあなたのメッセージを添えて贈られる方にお届けいたします。

○ 会員1人が新会員1名の勧誘についてのお願い

道民の美術に対する関心は年々高まっております。美術館協力会に対する理解も深まり、会員も1,000名を超えるようになりました。

しかし、美術館活動の協力、援助の充実を図るには、更に会員の拡大を図らなければなりません。会員皆さん方の友人、知人1人を新会員に勧誘して下さいよう、お願いいたします。

○ 会費の納入は早めをお願いします。

会費の納入については、前号でもお願いしておりますが、9月末現在の納入率約52%が、2月末では約60%と高くなり、会員皆様のご協力と感謝いたしております。しかし、事業活動を円滑に行うための財源確保に、なお一層のご協力をお願いいたします。

ます。館からの連絡は常にその代表に対してとられるという仕組みであり、従って、地域の代表は館と学校・地域をつなぐパイプの役となります。

時には、ボランティア全体がまとまって他の美術館を訪問することもあります。来年（1989）の10月に、ここで全米の美術館ボランティアの会議があります。10年程前にインディアナ州から発足して以来、2年毎に開催されています。私達は、年内に大会のテーマを定めなければなりません。個々のツアーの基礎的なことについて問い直しさらに新たな問題点はないかと、各グループの評議員が集まって検討している最中なのです。これから各美術館へ協力を要請して、少なくとも、600~700人の参加者が集まるでしょう。交通・宿泊・食べ物等の前手配から、又会議のために、小さな話し合いのグループのセッションを作る等のことまで……大重です。

☆ ☆ ☆

Q.¹ 年齢の制限は？—A. ありません。80歳でなお堂々の活動ぶりの方もおいでです。一般に、長く経験された方には名誉会員として、たとえ耳が遠い、歩くのが不自由となっても、何かの事に参加していただきます。

Q.² 志望者が減る傾向では？ 本人に自覚がなくてもはた目には不安に見える場合は？—A. 此処では、ボランティアを希望する人の数が多く、順番を待っている人が大勢いる現状です。後者については、2・3年前に現実にありました。外部から苦情が出たのです。リーダーが実際にギャラリーに付添って確認をし、皆さんで相談をしました。その上で、本人を傷つけないように気づかいながら話をしました。

Q.³ ウィルソンさん御自身が困難を感じておられることは？—A. それはあります。例えば、前述の苦情を持ち込まれた人への対応です。また、ボランティア養成の1年間を通して、うまく行っているかどうかを観察していて、その結果が思わしくないような時、その人の気持ちを傷つけないようにして、もう一年勉強を続けるよう勧めるのですが…喜んで再び挑戦する人とそうでない人が居ます。さらにまた、私達は公民に奉仕する事が目的です。決して現状に満足しているのではなく、より高いレベル・アップを望んで、そのためにはどうしたら良いかを常に考えています。今日の皆さんの訪問に対しても、前回と同じではない、より良い内容のお話ができる

ようにと、あれこれ考えました。

Q.⁴ 「解説」以外の収益金目的の活動は？—A. アメリカでも、販売ボランティアをしたり、パーティ、コンサートと工夫をして収益をあげている美術館もあります。此処ナショナル・ギャラリーでは、庭園造りの奉仕とか、ふだんは美術館へ来れないでいる恵まれない子供達の交通費を援助することはありますが、政府直轄なので、収益を上げる為の活動は一切しません。しかしボランティアが活動するプロジェクトに依って、政府からのボランティア助成金が増えます。例えばボランティアが年間4500回の解説をしたり、また、特別展に大勢の人が集まると、ボランティアがより活発、かつ円滑に活動出来るようにと、資金が多く注ぎ込まれるのです。

Q.⁵ 特典は？—A. まず、幾つかの料金の割引があります。駐車場と、館内で解説を聴く器具の使用料は無料です。売店のあらゆる本と、テープ、スライド等、20%割引です。メンバー・シップ・レストランは30%割引で、家族や友人の同伴も自由です。特別展の入場は無料ですし、また、一般公開の前に会場で説明を聞いたり、直かに話をする事が出来ます。それから、一般の人の立入りが禁じられている修復室に入ることが許されています。

Q.⁶（山田さんへ）外国語専門の訓練は？—A. 特に成人向けの解説養成では、先ず美術史を徹底的に教え込まれます。私の場合は、毎木曜日（10時~12時迄）の講義が5ヶ月間続き、いつも職場を3時間休んで通いました。毎回10枚程のテキストが配られます。週1度の予定が3度になることも度々でした。最後の審査ですが、外国語のツアーの場合には、言葉遣いのチェックが特に重視され、私の時には外国語部のチェアマンと複数の日本大使館員が立合って行なわれました。在米25年ですから、流ちょうな日本語というのが大変に難しかったことを覚えています。日本人の団体（予約は2週間前にする）勿論ですが、土曜日の家族向けのツアーも行なっています。外国語のツアーは、火曜日毎にフランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、日本語の順に、定期的を実施しています。

（Nov. 1988 ナショナルギャラリー訪問の日の記録によるものです）

北海道立近代美術館

平成元年度の展覧会事業を紹介します。

当館コレクションによる常設展は、5期に分けて各期ごとにテーマを設定したコーナー展示が行われます。第1期（4月7日～4月29日）は、前年度に収集された作品を紹介する〈新収蔵品展〉が中心。主な作品では、〈北海道に名画を贈る道民の会〉よりの寄贈作品、ローランサンの油彩「三人の娘」をはじめ、ユトリロの油彩「シセイ・アン・モルバン」、ガラスは1889年のパリ万博出品作、ガレの「虫文花器」、版画ではダンテの『神曲』を題材としたブレイクの7点組エンブレイヴィングなどがあげられます。

それ以降の主なコーナーは、第2期（5月3日～6月4日）に〈光と色彩の幻想—^{フアンタジ}ール・ヌーヴォーのガラス〉、第3期（7月15日～8月20日）の〈北海道を描く〉は、はまなす国体の関連事業、第4期（9月30日～12月24日）は、神話や宗教の世界をテーマとした〈聖なるイメージ—神話と宗教〉、そして最後の第5期（1月5日～3月28日）では〈日本画の情景—描かれた女たち〉が開かれます。

特別展は9本の展覧会を予定しています。スタートは〈今日のオーストラリア美術〉（4月7日～4月29日）。11人の新鋭作家による絵画、写真、インスタレーションなど多彩な内容。乾燥した広大な風土や伝統にしばられない国としての若さが反映された、この国独自の現代美術の状況を展覧します。

さて、安井曾太郎といえば、我国の近代洋画史上に安井・梅原時代をつくった巨匠。〈安井曾太郎展〉（5月3日～6月4日）では、名作「金蓉」をはじめ数々の代



安井曾太郎「金蓉」

表作が出品されます。西洋の技と日本の美意識を見事に融合させた安井芸術の全貌を伝えます。

さわやかな初夏には〈ミュシャ展〉（6月11日～7月9日）が始まります。優美で官能的な女性像で知られるミュシャは世期末、ポスター芸術の黄金期、そしてール・ヌーヴォー期のこ



ルノワール「ドミノ遊びをするガブリエルとココ」

の分野を代表する画家です。彼はスラヴの叙事詩を題材とした絵画、装飾品のデザイン等にも才能を発揮しましたが、この展覧会には、世界の著名なコレクションから選りすぐった作品が出品されます。

昨年、北海道はマサチューセッツ州と姉妹提携を結びましたが、〈ボストン美術館展〉（7月15日～8月20日）は、これを記念した企画。同館はアメリカ三大美術館の一つとして、つとに有名ですが、その質、量ともにすぐれたコレクションから、19世紀フランス絵画の栄光を伝える作品の数々を紹介しつゝ、セザンヌ、ルノワール、モネなど我国にもなじみの深い巨匠たちが一堂に会します。

ポップ・アートの鬼才アンディー・ウォーホールは1987年に急死しましたが、〈ウォーホール展〉（8月26日～9月24日）には、彼の最後の連作が登場します。ベンツ車生産の名車をシルクスクリーンで描いたもので、2^m×6^mの大作を含む内容は新鮮な感動をさそうことでしょう。

秋期に入ると〈シャガール展〉（9月30日～10月26日）を開催します。これまで日本で開催されたシャガール展と大きく異なり、彼が生前手離すことなく愛蔵していた作品によって構成されます。ペデルスブルグ時代の初期から晩年まで、油彩を中心とした170点余の展覧は、シャガール芸術に接するまたとない機会といえるでしょう。

また、子どもを対象とした恒例の展覧会〈サマー・ミュージアム'89〉（7月15日～8月20日）や〈子どもと親の美術館'90〉（1月5日～1月28日）、さらに所蔵品を中心に構成される〈木田金次郎と神田日勝の世界〉（3月4日～3月25日）など、本年も充実した展覧会が開かれます。

北海道立旭川美術館

北海道旭川美術館の平成元年度の展覧会事業を紹介いたします。例年通り年8回開催予定の展覧会のトップを飾るのは「北海道・今日の美術―世紀末の風景」（4月4日〈火〉～5月14日〈日〉）です。本道関係の具象系画家18名の絵画67点から構成される本展は、20世紀末の様々なビジョンを探るとともに、北海道美術の今日の状況を紹介するものです。

5月20日〈土〉からは「木の美―あそびの造形」を開催します。木工業が盛んな道北地方の地域の特性を背景に、当館では木の造形作品を作品収集方針のひとつの柱としていますが、本展では当館の多彩な木の造形コレクションから、機知とユーモアにあふれる現代木工芸の一端を紹介いたします。また、この期間、高橋北修や末武英一など昭和63年度に新しく収蔵した作品も同時にご覧いただけます。

次は「ドイツ・ロマン派絵画展」（7月8日〈土〉～8月13日〈日〉）を開催します。フリードリッヒやルンゲに代表されるドイツ・ロマン派絵画は、近年日本でも着実に愛好者を増やし、その魅惑的な画風が多くの人の心をとらえています。デュッセルドルフ美術館の所蔵品を中心に油彩79点、水彩、素描31点から構成される本展は、ドイツ近代絵画の歩みを知るうえでも、良い機会となるでしょう。

8月19日〈土〉から開催される「佐藤忠良のすべて」（9月24日〈日〉まで）では、現代日本の具象彫刻を代



C. D. フリードリッヒ「山上の十字架」1811年

表する作家の全貌を明らかにします。マントをまとった少女をモデルにした「ポタン」など、私たちの生活に溶けこんだ主題を扱った作品が数多く出品されます。

「高橋北修」展（9月30日〈土〉～11月5日〈日〉）では、旭川に生まれ、道北洋画壇の草分け的存在であった画家の生涯をたどります。道北の美術会の嚆矢となったヌタクカムシュッペ画会の結成や、戦後の純生美術会の創立に深くかかわった北修は、戦前に帝展入選を果たし、従軍画家としても多くの作品を残すなどその旺盛な創作活動は晩年（昭和53年歿）になるまで衰えませんでした。



高橋北修「池辺にて見し」1936年

「名作に見る世界の子供たち」（11月1日〈土〉～12月22日〈金〉）では、全国の美術館が所蔵する名作のなかから、子供を主題に扱った日本画、油彩、彫刻などを紹介します。洋の東西を問わず、豊かな表情をみせる子供の世界をご覧ください。

2月5日〈金〉から2月18日〈日〉までは、当館の所蔵品を中心とした展覧会を予定しています。道北ゆかりの作家の作品や、木の造形作品の美を、この機会にゆっくりご鑑賞ください。

最後は、「子どもと親の美術館'90」（2月24日〈土〉～3月25日〈日〉）を開催します。道立近代美術館の企画による、親子で楽しむ美術鑑賞入門の展覧会です。美術作品の他にも、写真パネルや遊具などをたくさん用意いたします。

以上、当館の今年度開催予定の展覧会についてご紹介しました。多数の皆様のご来館をお待ちしております。

北海道立函館美術館

北海道立函館美術館は、今年の9月ではや3周年を迎える。開館の初年度は新設の美術館として多くの関心が寄せられ、以後3年間、予想を上回る多くの方々にご来館をいただいていた。展覧会活動はこれまで、国内外の各時代にわたるさまざまな美術作品を紹介し、道南地域の文化の興隆に繋がるようつとめてきたが、今後も企画内容の充実を力を入れていきたい。

開館3周年記念特別展の第一弾として、4月8日から5月14日まで「蝶の夢・貝の幻—1927~1951 昭和戦前期の日本超現実主義」と題したテーマ企画展を開催する。昭和戦前期の美術作品の中から、蝶や貝のモチーフを追って、日本の超現実主義の特質を浮かび上がらせようとするもので、蝶と貝を主題に描いた日本画、油彩画、水彩、素描、版画、写真等約100点によって昭和前期の幻想表現の系譜を展望する。当館終了後、北海道立三岸好太郎美術館でも開催を予定している。

開館3周年の記念特別展第二弾は、神戸市立博物館所蔵の南蛮美術をはじめとする名品約80点を紹介する展覧会である。桃山時代に伝えられたヨーロッパ文化やキリスト教美術が日本の絵画に残した影響を、日本人の手による洋風の絵画や南蛮屏風により紹介、また、江戸期に

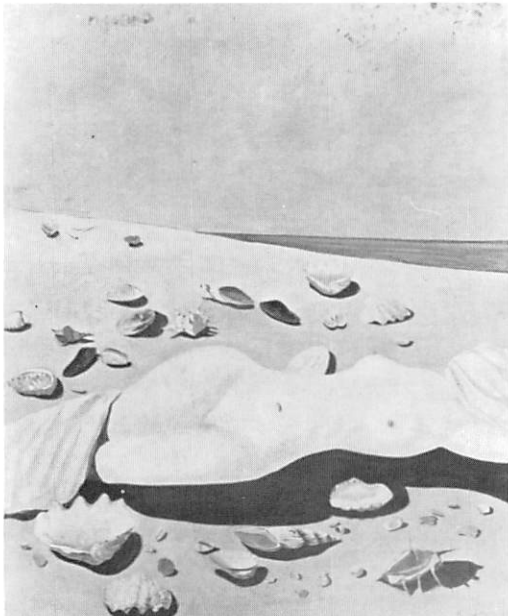


—南蛮・ハイカラ・異国趣味展
聖フランシスコ・ザヴィエル像 江戸時代初期

好まれた異国趣味の美術工芸品や明治期のハイカラなガラス工芸品などを展示する。この「神戸市立博物館所蔵名品展 南蛮・ハイカラ・異国趣味」展は6月27日から8月6日まで開催する。

このほか、コロー、ミレー、クールベそしてマネ、モネ、ドガ、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャンなど巨匠の作品を一堂に集めて近代絵画の流れをたどる「近代絵画の流れ」展を8月15日から9月24日まで、また、現代日本を代表する具象彫刻家、佐藤忠良の彫刻を中心に素描、スケッチ等約200点を展示し、佐藤忠良芸術の全貌を紹介する「佐藤忠良のすべて」展を9月30日から11月5日まで開催する。

冬期の1月4日から2月18日には、「東ドイツ現代美術展」を予定している。日本でこれまでほとんど知られることなかったドイツ民主共和国の力強い現代絵画135点を公開するもので、興味深い展覧会になるものと思う。「北海道今日の美術 '89世紀末の風景」展は、5月20日から6月18日に開催。所蔵品展は11月12日から12月10日に「川端文学と書・田辺三重松小品展」、2月25日から3月25日には、近代美術館のコレクションによるガラス工芸展を開く。）このほか特別展に合わせての美術講演会、特別展セミナー、美術映画などの教育普及活動に加えて、ミュージアム・コンサート、ミュージアム・シアターを予定している。



三岸好太郎「海と射光」

北海道立三岸好太郎美術館

遠く札幌に住む彼に会いに来ました。彼は営業マンなので昼間は会えないから、この美術館に来て時間つぶしのつもりでした。でも、作品がどれもすてきで、待ち合わせの時間に遅れそう…（東京・I子）

—— 来館者のノートから ——

有料化がスタートして1年たちました。有料化については、いろいろなお意見をいただきましたが、当館としてはこれにより企画展の予算を確保することができ、昭和63年度から年間2回の特別展示を開催することができるようになりました。

また、お客様からは「落ち着いて鑑賞できるようになった。」という声もいただいています。美術館とは知らずに入館された方が他の観覧者に迷惑をかけるようなことは全くなりませんでした。お客様の館内滞留時間が以前よりも長くなったのも特徴的なことです。

有料化を機に、皆さんにいっそう親しまれる憩いの場として、またつねに新しい魅力を生み出す美術館として活動を展開していこうと考えています。

平成元年度の事業のうち最も大きなものは、特別展「蝶の夢・貝の幻」（5・20～6・18）です。この企画は三岸が最晩年に手がけた蝶ト貝のモチーフを通して昭和前期の日本前衛絵画の様相をながめようとするものです。とくに三岸作品ではこれまで一度も他に公開されたことのない箱根強羅ホテルの所蔵作品《旅愁》《海洋を渡る蝶》の2点が、今回初めて山を下り、展示されます。三岸の蝶と貝殻がどうして生れたのか、どのような影響を周囲に与えていったかも明らかになるでしょう。

秋の特別展示「三岸好太郎と北海道」（9・15～11・5）は、第44回国民体育大会（はまなす国体）のスポー



新収蔵品・三岸好太郎「大通教会」



新収蔵品・三岸好太郎「月寒風景」

ツ芸術種目として開催されます。好太郎が描いた北海道風景を特集、館内外の作品10数点によって構成します。

夏休みの子供向け企画「たんけん美術館」は、今年も趣向をこらしたクイズ形式で皆さんをお待ちします。

昨年11月、北海道新聞社からグランドピアノが寄贈され、美術館コンサートの演奏曲目の幅がぐっと広がりました。新年度の日程は未定ですが、開催回数をふやすことを含めて、いっそう充実した内容でお楽しみいただけるものと思います。

ところで、新年度から当館の油彩作品が一段と見やすくなります。これは大部分の油彩作品の額縁のガラスをはずしてしまうためで、これまで反射して見づらかった《マリオネット》などの画面が、見違えるほど生き生きしてくるはずです。材質などの関係でどうしてもガラスの必要な作品についても、低反射ガラスを用いて反射を極力おさえます。また展示室全体の印象を統一するために、一部の額縁についていた箱枠をとりはずします。

ガラスは一般家庭やほこりの多いところでは必要であり、また箱枠はかけおろしの頻繁な場合についていたほうが安全といえますが、温湿度の管理が十分で専門の職員がいる美術館では本来必要のないものです。作品の安全に十分注意をはらいながら、有料化を機にこの措置にふみきました。

常設展では、リフレッシュされたこれらの油彩作品に加えて、修復を終えた新収蔵品の《大通教会》《月寒風景》の2点が仲間入り。延べ120～130点の作品を年間5回の展示替えによりご覧いただく予定です。皆さんのご来館を心からお待ちしています。

好太郎を愛した人物を、物を、町を、時間をこえて共有できる恩恵を、今新たに、静かに、だきしめています。（札幌市・Y）

—— 来館者のノートから ——

財団法人札幌彫刻美術館

第4回 本郷新賞

札幌彫刻美術館は、広く道民に彫刻芸術の理解を深めていただくためにこれまで様々な事業を行ってきました。特に、「本郷新賞」の創設と「北の彫刻展」は、開館以来隔年で実施し、好評を博してきました。

平成元年度は、「本郷新賞」の関連事業を予定しています。この賞は、今回で4回目をむかえます。

空間芸術としての彫刻に現実性、公共性、社会性を求め実行した第一人者であり、生涯モニュメンタルな彫刻を制作し続けた札幌出身の彫刻家故本郷新の遺志を継承し、その偉業を記念するのが「本郷新賞」です。同時に日本における野外彫刻の概念が変わりつつある現代において、これからは室内彫刻よりも野外における彫刻、あるいは立体造形に、より一層様々な可能性を秘めている。そのため、「本郷新賞」の持つ意味は回を重ねるたびに大きくなっているといえるでしょう。

全国の野外公共空間に過去2年間新設された立体造形の中から1点を選考し、賞金100万円を贈呈します。選考にあたっては、全国の美術関係者約130名の推薦委員に候補作品を推薦していただき、桑原住雄・佐藤忠良・匠秀夫・舟越保武・堀内正和・本間正義・柳原義達・吉田芳夫による選考委員によって受賞作を決定します。9月13日（水）に賞の贈呈及びシンポジウムと講演会を開催、同時に受賞者による記念展を9月13日（水）から10月15日（日）まで予定しています。

本郷新賞受賞歴

- 第1回 「風の又三郎群像」 黒御影石 1981年制作
花巻市ギンドロ公園
- 第2回 「水の広場」 黒御影石 1984年制作
名古屋市名城公園彫刻の庭
- 第3回 「地上より」 コールテン鋼 1986年制作
兵庫県三田市城山公園

尚、特別展期間中も本郷新の常設展を併設しています。彫刻めぐり・美術館コンサートも随時実施する予定となっています。

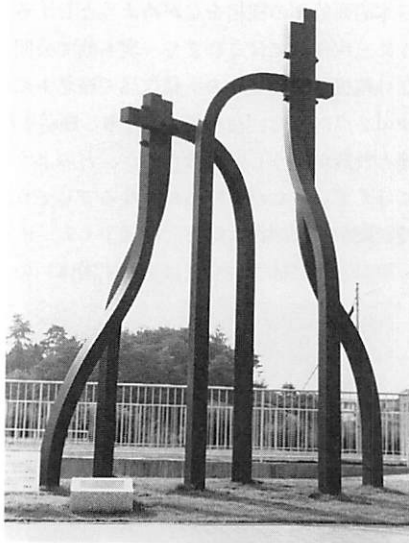
美術館周辺は、去年暮れに道路の整備がすすみ「彫刻道」を散策しながら美術館を訪れるのはいかがでしょうか。美術館を訪れるのはいかがでしょうか。



第1回本郷新賞「風の又三郎群像」



第2回本郷新賞「水の広場」



第3回本郷新賞「地上より」